



兵庫教育大学 (兵庫県)

自然・文化・人が融和する大学で日本の心にふれることができます！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学です。

さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）が設置されました。

在籍学生は、大学院、学部生あわせて1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁しています。

学習環境

雄大な播磨平野の一角に位置し、自然豊かな学習環境にあり、40万㎡の広大なキャンパスには、附属図書館、教育研究棟等が機能的に配置され、最新の教育研究設備・機器が整備されています。学生宿舎等も充実し、快適なキャンパスライフが送れるようになっています。

国際的な視野に立つ教員・事務スタッフも充実し、加東市と連携したフレンドシップファミリーのサポート体制も整えています。また、国籍の異なる学生も在籍することから、国際交流の機会も増え、幅広い学習が期待できます。



② 国際交流の実績

大学間交流協定校：32大学

欧米地域：ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部、ウィスコンシン大学オークレア校、ハイデルベルグ教育大学、ルツェルン教育大学、ヘルシンキ大学、ユヴァスキュラ大学、ラトビア大学、カレル大学教育学部、ミュンスター大学

韓国：ソウル教育大学校、大邱教育大学校、京仁教育大学校、全州教育大学校、公州大学校

中国：華南師範大学、海南師範大学、湖南理工学院、浙江師範大学、寧波大学、東北師範大学、北京師範大学

（台湾）：屏東大学、台中教育大学、台北教育大学、高雄師範大学、実践大学

タイ：チュラロンコン大学、ピブソンクラム地域総合大学

モンゴル：モンゴル国立教育大学

ベトナム：バリア・ブンタウ教員養成大学、ダナン大学

カンボジア：プノンペン教育大学

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2022年：留学生数 23人、日研生 1人

2021年：留学生数 30人、日研生 2人

2020年：留学生数 28人、日研生 1人

④ 地域の特徴

加東市は豊かな風土に育まれ時代を越えて受け継がれてきた有形・無形の文化財が数多くあります。朝光寺（国宝）をはじめ、国史ゆかりの神社仏閣が多数あり、歴史探訪を誘ってくれます。また、加古川水系に見られる滝など自然に恵まれ、四季折々の変化が

楽しみフィールド散策等もできます。さらに秋祭りなど地域密着型の行事から、地域の方々とふれあうことができ、日本人の心のふるさつを感じさせる伝統文化のある地域です。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

本コースは、1年間で日本の原風景に出会い、日本人の心に接することができる「日本の心探訪」コースと言えます。日本語をマスターし、日本文化に対する見識を高めるために各科目の講義、演習をはじめ、日帰り研修旅行などが用意されるほか、国際交流のための講演会、地域の国際交流活動にも参加できるプログラムとなっています。

③ 受入定員

3名（大使館推薦2名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者で、帰国時点でその大学に在籍している者（1年生を除く）
- ・JLPT：N2相当の日本語能力を有する者

⑤ 達成目標

- ・日本語能力の向上を目指す（JLPT：N1合格）
- ・実体験を通して日本文化を学ぶ

⑥ 研修期間（在籍期間）

2023年10月1日 ～ 2024年9月30日
(2023年10月1日 ～ 2024年9月30日)

⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ～ 2024年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

(※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定変更の可能性があります。)

9月下旬：渡日

10月： 秋学期開始、オリエンテーション
フレンドシップファミリーのつどい
加東市秋のフェスティバル



11月： 近隣学校への国際交流授業

6月： 日本文化研修

7月： 研究成果発表会



9月： 日本文化体験研修（茶道・華道）
日本語・日本文化研修留学生修了式

9月下旬：帰国（2022年は9月21日）

⑨ コースの修了要件

1) コースの修了要件

下記の授業科目区分のとおり、20単位以上の単位を取得し、特定の課題についての修了論文（レポート）を作成のうえ、研究発表を行うこと。
また、見学、地域交流型参加科目の参加も行うこと。

日本文化研修(姫路城)

日本語	日本文化実習・演習	日本文化講義	特別研究	総修得単位数
2単位以上	2単位以上	2単位以上	4単位	20単位以上

2) 修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、上記の修了要件を満たした者に対し、修了証書（英文・和文）を発行します。



3) 修了時に求められる日本語能力のレベル

日本語により修了論文（レポート）を作成し、日本語での研究発表・質疑応答が出来る日本語能力が求められます。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

本コースは、日本語、日本文化実習・演習、日本文化講義及び特別研究の4つの授業科目からなり、グローバル教育センター所属の日本語教育専門教員のもと、履修登録をはじめとしたアドバイスを受けます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

- 日本語コミュニケーション・・・日本語講義・演習（15コマ30時間）
- 外国人児童生徒のための日本語教育・・・日本人学生との共修（15コマ30時間）
- 日本事情・・・日本の自然、社会、歴史、芸術（15コマ30時間）
- 特別研究・・・日本語・日本文化研究及び修了論文

II) 選択科目

<日本語>

- 国語学Ⅰ・・・現代日本語（15コマ30時間）
- 国語学Ⅱ（音声言語及び文章表現を含む）・・・古典学習（15コマ30時間）
- アカデミック日本語・・・日本語の文章作成・発表（15コマ30時間）

<日本文化実習・演習>

- 書写・書道・・・書写の指導方法（15コマ30時間）
- 調理学実習・・・調理の技術習得（30コマ60時間）
- 工芸実技・・・陶芸、染色、漆芸の作品制作（30コマ60時間）
- 楽器実習Ⅰ・・・楽器奏法に関する演習（15コマ30時間）
- 合奏実習・・・演奏発表（15コマ30時間）

<日本文化講義>

- 文学と読解・・・日本の古典～近代文学の知識習得・読解（15コマ30時間）
- 初等社会・・・日本の初等社会科（15コマ30時間）
- 暮らしのなかの憲法・・・日本の憲法（15コマ30時間）
- 地学Ⅰ・・・地震、火山噴火、気象現象、宇宙（15コマ30時間）
- 食物学Ⅰ（食品及び栄養学を含む）・・・食生活（15コマ30時間）
- 食物学Ⅱ・・・食品の成分特性、調理過程の変化（15コマ30時間）
- 住居学（製図を含む）・・・住まいのあり方（15コマ30時間）
- 初等家庭・・・日本の小学校家庭科（15コマ30時間）
- 体育・スポーツ文化論Ⅰ・・・体育・スポーツの本質（15コマ30時間）

※ 2022年4月1日現在の授業科目であり、変更の可能性があります。
※ その他の学校教育学部開設授業科目についても、授業担当教員の許可を得て、履修することが可能であり、修了要件の修得単位に含むことができます。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

1. 教育現場体験研修

近隣小・中・高等学校での授業参観及び授業参加を行い、日本の教育現場、教育事情の体験研修を実施しています。

2. 日本文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ、体験できるよう日本文化体験研修を実施しています。

3. 日本文化実習

地元加東市を中心に、日本の生活習慣を体験するフレンドシップファミリーとの交流行事や、茶道、華道体験を実施しています。



近隣の学校で教育実習体験



茶道体験

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

学校教育学部開設授業科目について、授業担当教員の許可を得て履修し、日本人学部学生との共修が可能です。

<一例>

「外国人児童生徒のための日本語教育」

- (1) 外国人児童生徒の現状や、学校生活における困難についての理解を深める
- (2) 第二言語習得やバイリンガル教育の基礎知識を得る
- (3) 日本語や日本文化（特に学校文化）を相対的に捉える視点を養う

⑪ 指導体制

1) 指導教員

グローバル教育センター所属の大学教員が指導教員となり、留学生の関心に合致した個別指導を行います。

2) 学業面の個別指導

指導教員が一年間を通して履修指導や修了論文（レポート）指導を行います。

3) チューター制度

チューターは、留学生を一对一で支援する日本人の学生のことで、専門分野の学習や日常生活での助言を行います。また良き相談相手、よき友人として留学生生活サポートします。

4) 相談体制

国際交流会館の外国人留学生相談室で国際交流会館相談主事が留学生からの相談に応じます。

■ 宿 舎

大学キャンパス内の国際交流会館には外国人留学生専用の単身室が設けられています。



国際交流会館



単身室

■ 修了生へのフォローアップ

本学を修了後にはメール等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っています。また、本学の大学院への進学等についての相談等を行っています。

■ 問合せ先

<担当部署>

兵庫教育大学教育研究部学生支援課国際交流チーム

住所 〒673-1494

兵庫県加東市下久米942-1

TEL +81-795-44-2043（直通）

FAX +81-795-44-2049

E-mail office-kokusai-t@ml.hyogo-u.ac.jp

<ウェブサイト>

兵庫教育大学：<http://www.hyogo-u.ac.jp/>

